

平成27年 市長年頭のごあいさつ

都留市長 堀内 富久



あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えることと心からお喜び申し上げます。

平成25年12月の就任以来、市民の皆さまをはじめ、市政に関わる多くの皆さま方に、多大なご支援をいただき、第5次長期総合計画及び4つのコンセプトに沿った市政運営が推進できたことに感謝申し上げます。

現在、市では市政運営の羅針盤となります「第6次都留市長長期総合計画」の

策定に取り組んでおります。平成28年度からの11年間を計画期間とする新しい長期総合計画において、踏まえるべき時代の潮流をしっかりと捉え、ふれあい集会などをはじめとする、多様な市民参加や参画の手法を活用することにより、夢と希望にあふれた計画となるよう準備を進めております。

国では、急速な少子高齢・人口減少対策とともに、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、昨年9月に「まち・ひと・しごと創生本部」を発足させており、本市としても、これらの施策に全庁を挙げて取り組んでいくため、「都留市まち・ひと・しごと創生本部」を10月に立ち上げ、一元的、かつ効率的に推進することといたしました。今後、長期総合計画の策定と並行し、「まち・ひと・しごと創生」に関する施策を総合的かつ計画的に行うまいります。

また、地方創生への積極的な取組や簡素で効率的な行財政経営の確立と、市民の皆さまにとって身近で分かりやすい市役所とするため、本年4月に組織・機構の見直しを行うことといたしました。

高齢化への対応、子育て支援、健康寿命の延伸など、「ひと」や「くらし」を守り育てるための市民サービスをそれ

ぞれの対象者に適切に対応できる体制とするともに、互いの連携を強化するため、既存の3部制から4部制へ増設し、それに伴う課も創設する中で、長期総合計画の策定・実行を見据えた組織体制とするものであります。

都留文科大学につきましては、大学淘汰の時代の中にあっても本市のシンボルとしてあり続け、また、学生や社会から「魅力あふれる大学」として認識され続けるためにも、持続的な発展を堅持してまいりたいと考えております。

さらに、都留文科大学は、一層の地域貢献に資するため、昨年12月3日、山梨県との間で「包括的連携協定」を締結しており、さらなる発展につながるものと期待しております。

看護系大学誘致事業につきましては、東部地域の看護師確保と医療環境の地域間格差の是正に資するものとして、山梨県からも財政支援を受けられることが決定しており、学生人口の拡大だけでなく、地域の活性化、大学による地域貢献、市内教育機関及び市内医療福祉関係機関等との連携など、本市の将来にとって大変有益なものになるものと考えております。

平成28年4月の健康科学大学看護学部開設に向け、本年早々から準備工に

着手し、4月以降に本格的な改修工事にも着手する予定ですので、周辺の地域の皆さまには、工事中大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

農林産物直売所につきましては、平成28年夏のオープンに向けて、現在、基本構想、基本計画に基づく設計の準備を行っております。

この施設は、安心・安全な農産物の生産、持続可能な農業経営の実現に向けた市の農業振興の核となることを目的としており、あわせて農業所得の向上が期待できる仕組みづくりの中心となるよう、出品者組織を構築するなど、の事業を展開してまいります。

また、シルバー産業の推進による新たな雇用の創出、市内経済の発展及び産業振興、さらに、地域住民が参加・活動・交流し、心身機能の健全な維持・向上等がバランスよく実現できる、地域の介護予防の拠点としての身近な「居場所」づくりに向けた調査・研究等により、健康ではつらつとした暮らしを実現するための事業などを推進してまいります。

本年も「夢かなう都留市」の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、市民の皆さまの一層の市政への参加・参画・協働並びにご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成27年 元日

今年の主な重点事業

市政運営の基本方針と「都留市まち・ひと・しごと創生」事業

平成27年度は、第5次都留市長期総合計画に基づいて進めてきた、まちづくり事業の総仕上げの年となります。長期総合計画後期基本計画に示された既存事業をベースに行政の継続性と4つのコンセプトの視点で重点的に事業を進めます。

また、今年度は、各コンセプトに重点事業として位置づけた44事業の中から、「人口減少を克服し、持続的なまちづくりの柱となる14の事業について、『都留市まち・ひと・しごと創生』事業」と位置づけ、中長期的な観点から

リーディングプロジェクトとして取り組んでいくこととしています。（「★まち・ひと・しごと」が該当事業）

コンセプトⅠ 創ります！ 豊かな産業のあるまち

(6事業/まち・ひと・しごと2事業)

■シルバー産業の構築

①シルバー産業の推進(★まち・ひと・しごと)

■特徴ある産業の構築と人材育成

①農林産物直売所の建設(★まち・ひと・しごと)

②特徴ある農業の推進

③商業振興対策事業

■ものづくり企業の支援

①地場産業の支援

■インフラの整備の推進

①側道南側古川渡線・側道古川渡東桂線道路改良

コンセプトⅡ 輝かせます！ 都留の誇り

(14事業/まち・ひと・しごと6事業)

■魅力あふれる城下町文化の保護・育成・発信

①ふるさと芸能の伝承(★まち・ひと・しごと)

②観光産業推進事業(★まち・ひと・しごと)

③ミュージアム都留リニューアル事業

④都の杜うぐいすホール改修事業

■リアのまち都留市を発信

①交流産業のPRと推進体制の整備

■文化学園都市としてのまちづくりの推進

①看護系大学誘致事業(★まち・ひと・しごと)

②都留文科大学施設整備事業(★まち・ひと・しごと)

③英語特区(教育課程特例校)事業

(★まち・ひと・しごと)

④小中学校地震対策補強事業(非構造部材耐震化)

⑤少人数指導実施のための市担教員の配置等

⑥学生アシスタントティーチャー事業

(★まち・ひと・しごと)

⑦学校現場における教育の情報化の推進事業

⑧「のびのび興譲館」の充実

⑨暮らしに役立つみんなの広場

コンセプトⅢ 育みます！ やさしさと元気のまち

(17事業/まち・ひと・しごと5事業)

■健康ではつらつとした暮らしを実現

①介護予防施設「居場所」の整備(★まち・ひと・しごと)

②はつらつ鶴寿大学の運営

③各種スポーツ教室等の充実

④産科分娩の再開(★まち・ひと・しごと)

⑤電子カルテの導入

⑥看護師確保対策の推進強化

■子育ての喜びが実感できるまちを実現

①子育て家庭へ医療費の経済的支援

②ファミリー・サポート・センターの利用促進

③放課後子ども教室事業

④放課後児童クラブ(学童保育)の充実

■互いに尊重し、支え合う福祉のまちづくりの推進

①生活交通確保対策(★まち・ひと・しごと)

■安心して暮らせる安全なまちづくりの推進

①実効性の高い防災組織づくりとその育成(★まち・ひと・しごと)

②市役所本庁舎への太陽光発電設備・蓄電池の設置

③特色ある自治会活動への支援

④災害時救急搬送拠点ヘリポート整備事業

(★まち・ひと・しごと)

⑤消防団サポート事業

⑥消防団防火衣更新整備事業

コンセプトⅣ 実行します！ 新しいステージへ

(7事業/まち・ひと・しごと1事業)

■市民の声を行政に

①ふれあい集会の開催

■効率的な行政

①公共施設等管理計画の策定

②社会保障・税番号制度の導入

③税等の徴収対策の強化

■活力ある市民、市政

①職員提案制度

②協働のまちづくりの推進(★まち・ひと・しごと)

③第6次都留市長期総合計画策定事業

地震だ！ その時どうする？



※震源に近い地域では、緊急地震速報が揺れに間に合わないことがあります。

昨年11月22日、22時8分頃に長野県北部を中心とする最大震度6弱の地震が発生し、大きな被害をもたらしました。
本市でも、大きな地震が想定され、テレビ・ラジオ・携帯電話・防災無線により緊急地震速報が出されました。皆さんは、その時、どのような対応がとれましたか？

■「緊急地震速報」が出されたら、身の安全を最優先に！
緊急地震速報は、地震の発生直後に震源近くで地震動をキャッチし、強い揺れが始まる直前に気象庁が中心となり知らせる情報です。最大震度5弱以上が推定される場合に、テレビ・ラジオ・携帯電話・防災無線を通じて知らせます。緊急地震速報を見聞きしてから揺れがくるまでの時間は、わずか数秒から数十秒しかありません。身の安全を守ることを最優先に行動しましょう。



- 落ち着いて、自分の身を守る
机の下に隠れるなど、まずは身を守ることを第一に
- あわてず、火の始末
揺れが激しい時は無理をせず、大きな揺れがおさまってから火の始末
- ドア・窓を開けて逃げ道を確保する
地震の揺れでドアや窓枠が変形して開かなくなるおそれがある

- 火元を確認し、出火していたら初期消火
- 家族の安全を確認
- 靴をはく
ガラスの破片などから足を守る
- 非常持出品を手近に用意する

- 隣近所の安否を確認する
一人暮らしの高齢者などがいる家には積極的に声をかけて安否を確認
- 正しい情報を入手する
テレビ・ラジオなどで正しい情報を確認
- 家屋倒壊などのおそれがある場合は避難する

■地震発生時の行動チャート
(あわてず、落ち着いて)
大きな地震が発生した際、冷静に対応するには難しいものですが、一瞬の判断が生死を分けることもあります。いざという時、「あわてず、落ち着いて」行動するために、地震発生時の基本的な行動を覚えておきましょう。



■たくさんの方に参加をしていただき、防災について学習しました。
災害に備え、地域の防災力向上に努めてください。

■災害に備え「自助・共助」の重要性を市民防災研修会で強調！
昨年の10月から11月にかけて、市内10会場にて地域住民の災害に対する意識啓発及び防災活動への理解を深めることを目的に防災研修会を開催しました。

【研修会のポイント】災害に備えて大切なこと

- ① 自分の身は自分で守る、自分自身で・家族全員で備えることが重要(自助)
- ② 地域の人たち同士の助け合い、地域一丸となって助け合うことが重要(共助)

- ・ 地域の防災組織の連携ができていますか(機能していますか)。
- ・ 災害時要援護者(高齢者など)を支援する体制はできていますか。
- ・ 防災訓練の意義を理解し、参加をしていますか。
- ・ 安全な避難方法、ご自身の指定避難場所を知っていますか。
- ・ 地域の人たち同士の助け合い、地域一丸となって助け合うことが重要(共助)
- ・ 非常持出品、備蓄品(食糧)の準備をしていますか。
- ・ 家の中(家具の固定)や家の周囲を安全にしていますか。
- ・ 安全な避難方法、ご自身の指定避難場所を知っていますか。